全日病 SQUE e ラーニング 看護師特定行為研修

創傷管理関連

区分別科目

（A）褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去

褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去

彦根市立病院 在宅診療科

切手 俊弘 氏

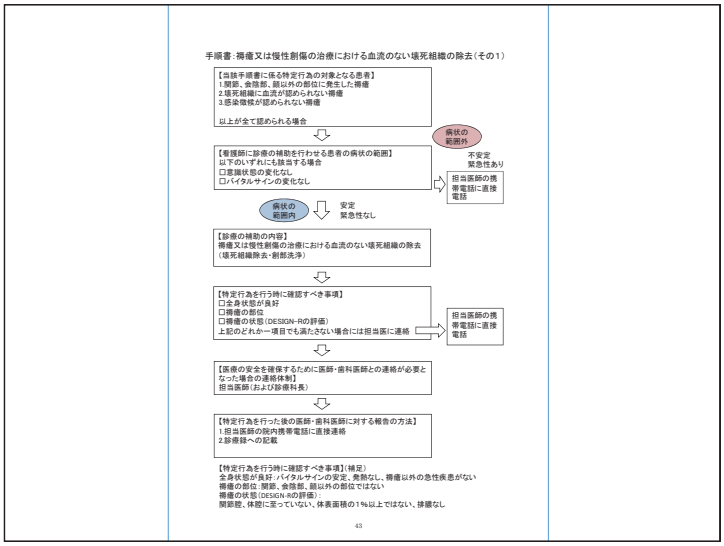
一般社団法人 S-QUE 研究会

OSCE
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去

彦根市立病院
在宅診療科
切 手 俊 弘

講義内容

- 手順書について
- 特定行為の実施
- 血流のない壊死組織の除去の解説


手順書:褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
1.関節、会陰部、顔以外の部位に発生した褥瘡
2.壊死組織に血流が認められない褥瘡
3.感染徴候が認められない褥瘡
以上が全て認められる場合

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
以下のいずれにも該当する場合
□意識状態の変化なし
□バイタルサインの変化なし

病状の範囲外
不安定
緊急性あり
担当医師の携帯電話に直接電話

病状の範囲内
安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
(壊死組織除去・創部洗浄)

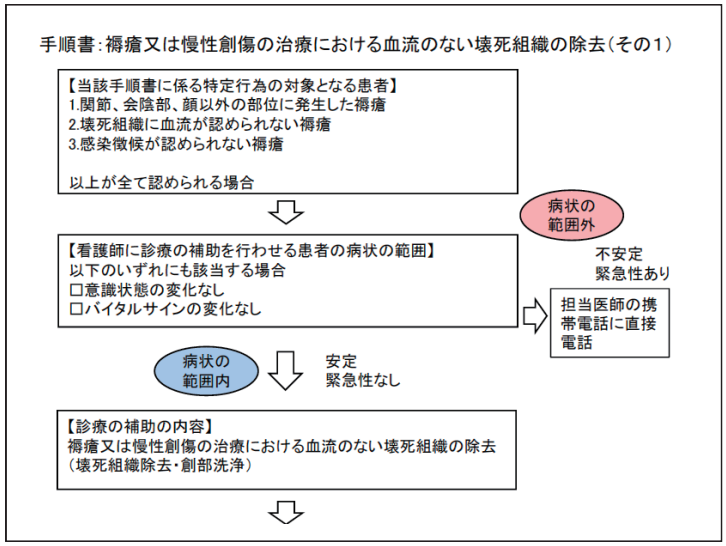
【特定行為を行う時に確認すべき事項】
□全身状態が良好
□褥瘡の部位
□褥瘡の状態(DESIGN-Rの評価)
上記のどれか一項目でも満たさない場合には担当医に連絡
担当医師の携帯電話に直接電話

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】
担当医師(および診療科長)

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】
1.担当医師の院内携帯電話に直接連絡
2.診療録への記載

【特定行為を行う時に確認すべき事項】(補足)
全身状態が良好:バイタルサインの安定、発熱なし、褥瘡以外の急性疾患がない
褥瘡の部位:関節、会陰部、顔以外の部位ではない
褥瘡の状態(DESIGN-Rの評価):
関節腔、体腔に至っていない、体表面積の1%以上ではない、排膿なし

43


手順書:褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】
1.関節、会陰部、顔以外の部位に発生した褥瘡
2.壊死組織に血流が認められない褥瘡
3.感染徴候が認められない褥瘡

以上が全て認められる場合

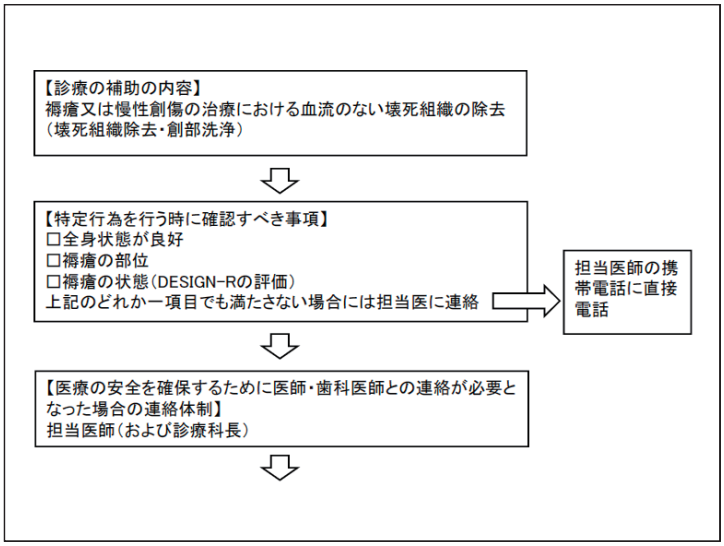
病状の範囲外
不安定
緊急性あり

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】
以下のいずれにも該当する場合
□意識状態の変化なし
□バイタルサインの変化なし

担当医師の携帯電話に直接電話

病状の範囲内
安定
緊急性なし

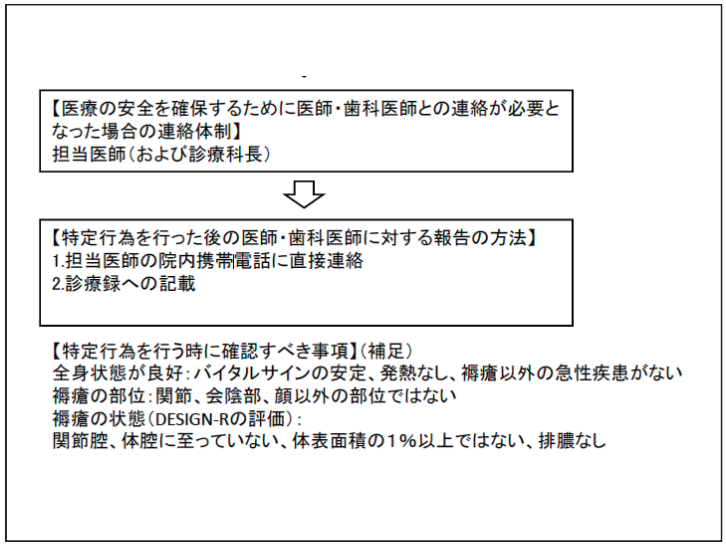
【診療の補助の内容】
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
(壊死組織除去・創部洗浄)


【診療の補助の内容】
褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
(壊死組織除去・創部洗浄)

【特定行為を行う時に確認すべき事項】
□全身状態が良好
□褥瘡の部位
□褥瘡の状態(DESIGN-Rの評価)
上記のどれか一項目でも満たさない場合には担当医に連絡

担当医師の携帯電話に直接電話

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】
担当医師(および診療科長)


【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】
担当医師(および診療科長)

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】
1.担当医師の院内携帯電話に直接連絡
2.診療録への記載

【特定行為を行う時に確認すべき事項】(補足)
全身状態が良好:バイタルサインの安定、発熱なし、褥瘡以外の急性疾患がない
褥瘡の部位:関節、会陰部、顔以外の部位ではない
褥瘡の状態(DESIGN-Rの評価):
関節腔、体腔に至っていない、体表面積の1%以上ではない、排膿なし

症　例

- 70歳代　男性
- 既往　　脊椎損傷　認知症
- ADL　事故による影響で寝たきり状態

家族が体位変換をおこない自宅で生活
介護の手が少なくなり、踵部に褥瘡形成

現　症

バイタルサイン	体温：36.2度　　血圧：110/74mmHg 脈拍：64回/分　　呼吸回数：15回/分
血液データ	WBC：7200　RBC：435　Hb：13.6　CRP：0.24 BS：94　HbA1c：6.1　TP：6.4　Alb：3.6 GOT：48　GPT：34　BUN：20.4　Cr：1.10
局所（踵部）	• 入院中に踵の色調は黒色へ変化 • 大きさ　4㎝×3㎝ • 創および周囲の熱感や腫脹なし

壊死組織を除去する

壊死組織除去時の確認

- 壊死組織の血流確認
- 下肢の血流確認
  （足背・後脛骨・膝窩動脈）
- 除去時の疼痛管理
- 除去後の創部出血確認
- 創部の性状、排液の有無

壊死組織除去時の確認

- 壊死組織の血流確認
- 下肢の血流確認
  （足背・後脛骨・膝窩動脈）
- 除去時の疼痛管理
- 除去後の創部出血確認
- 創部の性状、排液の有無

下肢の血流確認

まとめ

手順書に沿った評価を行い、特定行為として血流のない壊死組織の除去を安全に行うことが重要である。